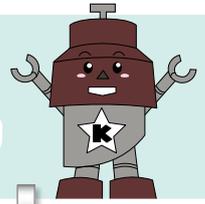




イベントスケジュール



12月

3日(日)

第36回川口マラソン大会
場 青木町公園総合運動場

16日(土)~25日(日) →21ページ

アイススケート場オープン
場 グリーンセンター アイススケート場

8日(金) →7ページ

かわぐち光のファンタジー2017
イルミネーション点灯式
場 川口駅東口ペDESTリアンデッキ

27日(水)~31日(日) →27ページ

スーパースターフェスタ2017
場 川口オートレース場



かわぐち光のファンタジー

1月

7日(日)~21日(日) →20ページ

アートな年賀状展2018
場 アートギャラリー・アトリア

14日(日)

新春伝承あそびまつり
場 中青木公園



8日(祝)

川口市はたちの集い
場 リリア・リリアパーク



アートな年賀状展

ひと

新しい「和」のかたち

大正琴

土門 ともん

祥子さん
(下青木)

大正元年、タイプライターからヒントを得て開発された日本発祥の楽器、大正琴。鍵盤を左手で押さえながら右手に持ったピックで弦を弾くと、繊細で優しく、どこか懐かしい音色が響く。昭和59年に立ち上げた「琴姫支部」を通じて、国内のみならず海外での大正琴の普及、後進の育成活動が評価され、市の芸術功労賞を受賞。「弦の数や太さによって多彩な表現ができるこの楽器の素晴らしさを、多くの人に伝えたい」とほほ笑む。

ふと楽器屋に寄った時に触れた大正琴。何気なく始めたが、弾けば弾くほどその小さな楽器から紡ぎ出されるさまざまな表情に魅せられていった。なじみのない楽器で、当時弾ける人も少なかったため、試行錯誤しながら一日中練習を重ね、腕を磨いた。

大正琴が年寄りの楽器だという認識を変えるため、伝統的な曲だけでなく、今まで演奏していなかったJポップなどを演奏した結果、若い人たちも足を止めてくれるようになった。また、海外の人たちにも魅力を伝えるため、楽器を持って一人で海外に行くことも。今ではヨーロッパやアメリカなど各国のイベントに仲間と一緒に招待されるようになった。現地で親しまれている曲を取り入れて演奏すると、観客が一緒に歌い、



「大正琴の音色は国境を越える」と実感した。

ワンポイント

手話講座



今回は『こんばんは』を紹介します。夕日が沈み、だんだんと暗くなっていく様子を表したものです。また、「暗い」や「夜」という意味も含まれています。

日の沈みが早い今の季節には、使う機会も増えてくるかもしれません。

◆◆◆ 今月の手話 ◆◆◆

こんばんは



①開いた手のひらで外側から円を書くようにクロスします。



②指同士でおじぎをしているように両手の人差し指を顔の前あたりで内側に曲げます。

問 障害福祉課

☎048-259-7926

FAX 048-256-5650